



6月も半ばとなり、子ども達も各クラスでの活動を存分に楽しんでいます。この時期に、一人一人の気づきや遊びの面白さ、めあてをしっかりと捉え丁寧に関わっていくことで、子ども達の活動や生活への意欲が高まり、二学期以降の育ちへとつながっていきます。それぞれのやりたいことを十分に楽しんでほしいと思います。

園外保育は楽しいね

自然との触れ合いや、遊びへの興味関心などから、各クラス共に、園周辺や地域探検に出かけたり、幼稚園バスを使って出かけたりしています。その様子を少しお伝えします。

年長あお組は、5日（水）に『出雲縁結び空港』へ行きました。5月に平田消防署へ出かけ、そこで消防署の中を案内してもらったり、消防車の仕組みを説明してもらったり、消防車や放水の様子を見せてもらったりしました。一気に消防車や放水への興味が高まり、これまでの探検で川への興味と合わさって、大きな段ボールで消防車を作ったり、ラップの芯の穴を手で叩きその先にある水に見立てたボールを飛ばそうと考えたり（原理は空気砲みたいなものです）、川の水門を段ボールで作って紐を巻くと水門が開く仕組みを考え、空いた水門から転がる玉で火を消すイメージをもったり、柔らかい板に傾斜をつけそれを川に見立てて丸いものを転がしたり……。体験を自分達の遊びに取り入れて楽しもうとしていました。そうしたタイミングで担任は「新たな刺激が加われれば、遊びのイメージもめあても膨らんでいくだろう」と、出雲縁結び空港への園外保育を計画しました。そこでは普段入れない場所へ案内してもらい、化学消防車と防災ヘリの見学をさせてもらいました。化学消防車の大きさ、放水の勢いのすごさ、消防服の重さ、防災ヘリの救助の大切さ、隊員のカッコよさ、などに目はくぎ付けでした。ちょうど、東京便の飛行機が着陸したので、間近で写真撮影もさせてもらって大満足の年長児でした。早速次の日から、空港での体験を、今の遊びに活かそうとする子ども達の姿がありました。「化学消防車から水が出る場所は、右や左に動いてたよ」と、放水口を動くようにしたり、「もっと大きい火を消そう」と段ボールを赤く塗って火に見立てたり、ラップの芯を使って水に見立てたボールを飛ばす遊びは「もっと勢いよく飛ばないと大きな火は倒れないなあ」と考えたり……。自分達の遊びをもっと面白くしようと試したり、園外保育の体験を活かそうとしたりする力が、今の年長組で育ちつつあります。



年少りんご組と年中き組は、10日（月）に『上津カエルランド』へ行きました。ここ数年、年中児だけが行っていた場所ですが、今年は年少組の人数が少なく普段から年中児と一緒に遊んでいるので、合同で出かけました。ダンゴムシなどの生き物が大好きな年少・年中児は、カエルがたくさんいるところへ行けるとあって大喜び。朝から長靴を履いて着替えをもって準備万端でした。カエルランドは、個人宅の畑や山をビオトープのようにしているような生き物が生息できるように、上津探検隊のみなさんが管理しておられます。この日も上津探検隊さんに案内してもらいました。草地や池でたくさんのカエルやオタマジャクシなどを見つけ「見て見て、カエルつかまえたよ!」「こっちはイモリがいる」と、大歓声でした。少し奥に行った崖の下にはサワガニがたくさんいて「可愛いね」「足が速いなあ」と、サワガニにも夢中になっていました。帰り道は、道路の横を流れている川（水位は低いです）の中へ入り、ジャブジャブと川を歩くというなかなかできない体験もさせてもらいました。自然の中での直接体験の感動や気づきが、これからの遊びへの意欲となっていくたり、遊びに取り入れたり、豊かな心のたくわえとなっていくりすることでしょう。

